

禁煙宣言

令和 2年 3月25日
一般社団法人宮城県歯科医師会

喫煙とそれに伴う受動喫煙による健康被害は、がん・心臓病等全身の健康に悪影響を及ぼすという研究結果が報告され、医学的に証明されている。喫煙は口腔領域に直接的影響を及ぼし、歯周疾患、口腔がん、歯の喪失等のリスクを高める。さらに、歯周治療や外科処置後の治癒に影響し、歯科治療の効果にも重大な影響を及ぼす。喫煙は「病気の原因の中で予防できる最大かつ単一のもの」(WHO)であり、口腔領域は喫煙の悪影響と禁煙の効果を確認することが容易であることから、歯科保健医療専門職による口腔保健指導による禁煙推進は効果的であり、国民の健康に大きく貢献できる。タバコが健康に及ぼす悪影響から現在及び未来の世代を保護し、生活の質を維持向上させるために、また、口腔および全身の健康とより良い歯科治療を確保するため、喫煙対策が重要な課題であることを認識し、日常の診療や地域保健活動の場で、積極的に加熱式電子タバコを含むすべてのタバコについて喫煙対策を推進することを宣言する。